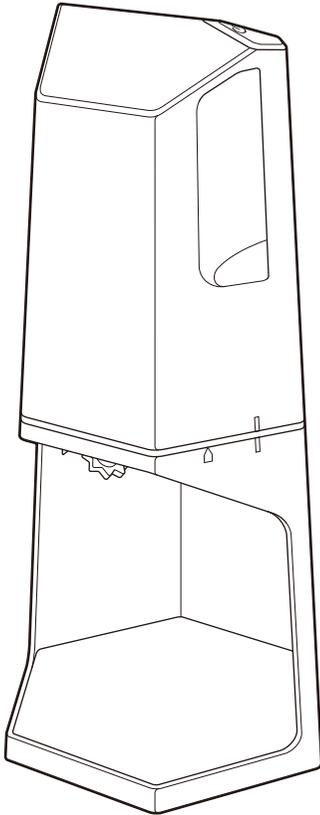


メガ盛りふわふわ電動かき氷器 DTH-19/DTH-B2

取扱説明書・保証書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
準備	P. 5
正しい使いかた	P. 6～9
お手入れと保存	P. 10～11
修理・サービスを依頼する前に	P. 12～13
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

品 名	メガ盛りふわふわ電動かき氷器	定 格 時 間	2 分
型 番	DTH-19/DTH-B2	質 量	(約) 1.2kg
定 格 電 圧	AC100V	付 属 品	取扱説明書・保証書×1、レシピ×1、 ふた付き製氷カップ(Mサイズ)×4、ブラシ×1
定 格 周 波 数	50/60Hz		
定 格 消 費 電 力	25W	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>製氷カップは、こちらからご購入いただけます</p><p>DOSHISHA Marché ONLINE STORE ドウシシャマルシェ </p><p>https://www.doshisha-marche.jp/ 携帯からはこちら</p></div>	
製 品 サ イ ズ	(約) 幅 18.5cm × 奥行 16.0cm × 高さ 37.0cm		
コードの長さ	(約) 1.2m		

記載型番の製品取扱説明書となります。型番によって付属品が異なりますので、お使いいただいている製品と使いかたが異なる場合がありますのでご了承ください。また異なる箇所不明点がある場合は、お客様相談室にメールでのお問合せをいただけますでしょうか。本取扱説明書は電子版のため、本紙内容と記載内容が異なる場合があります。

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	㊄は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、㊄の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「必ず実行すること・強制」を示します。)

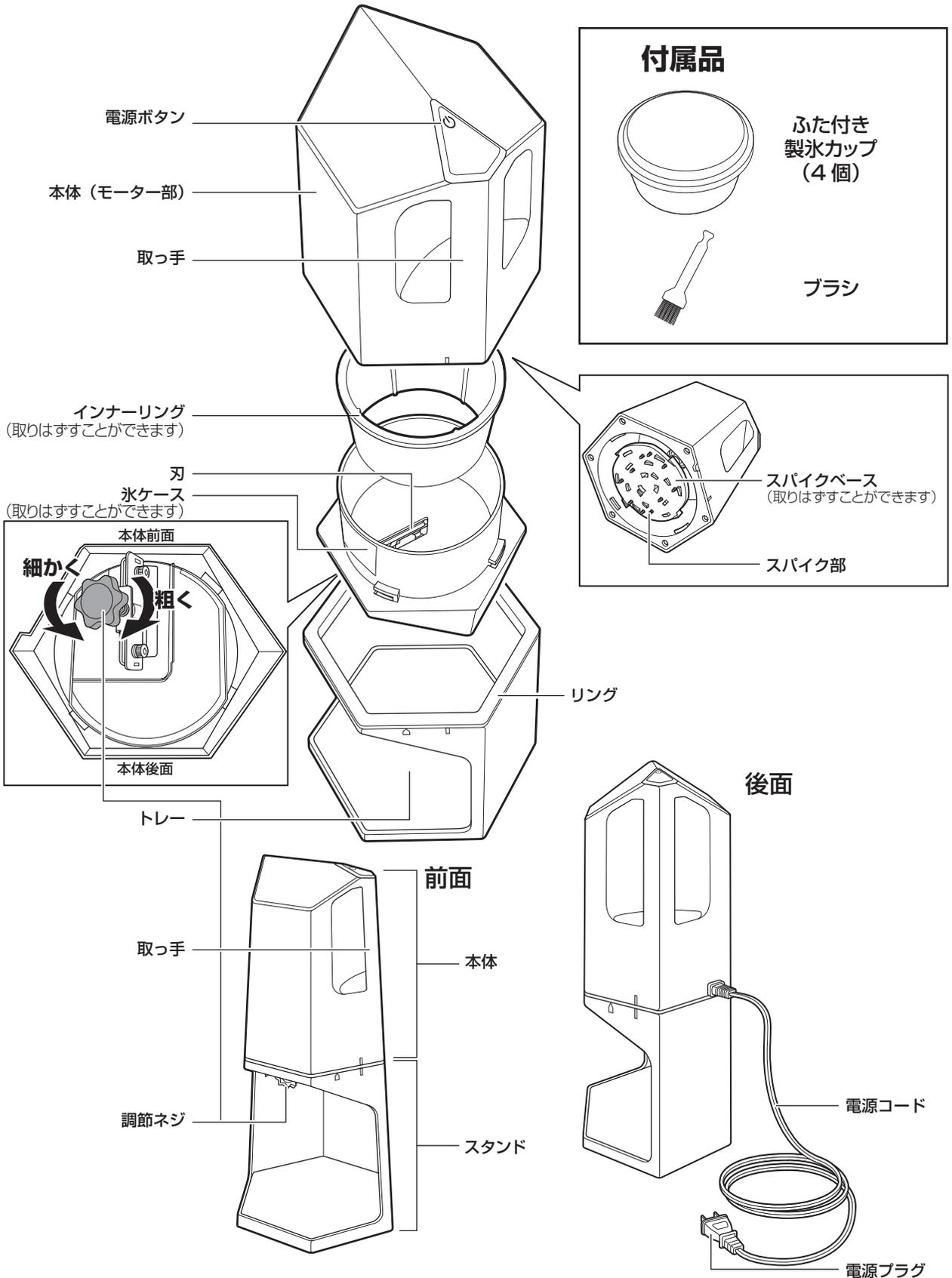
警告

 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、電源プラグを差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	乳幼児だけで使わせたり、手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 水ぬれ禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	湿度の高いところ、火気があるところ、直射日光があたるところで使用・保存はしない。 故障や変形の原因になります。		本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		

⚠ 注意

 接触禁止	刃やスパイクには直接ふれない。 けがの原因となります。	 禁止	専用の製氷カップで作った氷以外のものを氷ケースに入れない。 破損、故障の原因になります。
 指示	水分や振動に強い、水平な安定したテーブルなどの上で使用する。 モーター故障の原因になります。		製氷カップを加熱したり、電子レンジに入れたりしない。 破損、故障の原因になります。
 禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜く。 感電、ショート、故障の原因になります。	 禁止	製氷カップや本体以外の水洗いできる部分は、40°C以上のお湯で洗わない。食器洗浄乾燥機を使用しない。 変形、変色、破損の原因になります。
	2分以上の連続運転はしない。 モーター故障の原因になります。		高いところから落とすなど、強い衝撃を与えない。 感電、けが、破損、故障の原因になります。
	運転中にスタンドから本体を取りはずしたりしない。 けがや故障の原因になります。		タコ足配線をしない。 火災の原因になります。
	変形や破損のあるときは、使用しない。 感電や火災、やけどの原因になります。		お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	本体を水につけたり、水洗いしない。 本体は防水されていないため、水が入るとショートや火災、感電の原因になります。		
業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。			
不安定な場所や傾いた場所、高い場所、乳幼児やペットの走り回る場所には置かない。 落下して故障や破損の原因になります。			
氷を入れた状態で本体を倒したり、さかさまに持ったり、置いたりしない。 本体に水が入り、感電、故障の原因になります。			

各部の名称とはたらき



準備

初めて使用する前に

1. 本体より下の部分を十分に洗って乾かす

「お手入れと保存」(10~11ページ)を参考に一度すべて分解して水洗いして十分に乾かします。



警告

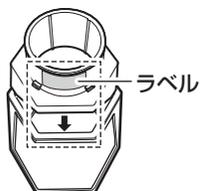
本体は絶対に水につけない。
故障の原因になります。



注意

スタンドに氷ケースを取り付けるとき、正しく取り付ける。

スタンドと氷ケースを取り付けるときは、スタンドの正面と氷ケースのラベルを同じ向きにして取り付けてください。



氷を作る

1. 付属のふた付き製氷カップを十分に洗う

特に初めて製氷カップを使用するときは、十分に洗ってください。



注意

製氷カップを洗うときは、食器洗浄機、食器乾燥機を使用しない。
変形などの原因になります。

2. 水を製氷カップの約8分目まで入れ、ふたをして冷凍庫に入れる

製氷カップに約8分目程度水を入れ、ふたをして冷凍庫に入れてください。

・製氷カップは安定するように平置きで冷凍庫に入れてください。積み上げると倒れる可能性があります。



注意

製氷カップに水を入れすぎない。
本体を氷ケースに取り付ける事ができなくなります。また、製氷カップ破損の原因になります。

3. 水が凍ったことを確認したら、ふたをはずして氷を取り出す

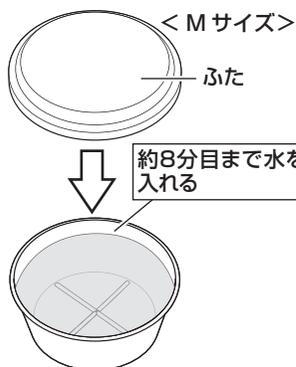
使用するときには、ふたをはずして製氷カップの底面を押して、氷を取り出します。

・氷が取り出しにくいときはカップの外側を温め、少し溶かすと取り出しやすくなります。

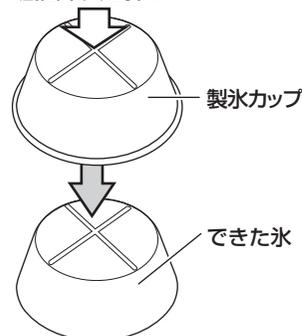


注意

- ・冷凍庫から取り出したばかりの氷に直接ふれない。
皮膚が氷に密着し、けがの原因になります。
- ・氷を製氷カップから取り出すときに、たぎつたりしない。
製氷カップの破損の原因になります。
- ・できた氷はできるだけ早く使用する。
氷をストックしておくことができますが、時間が経過すると霜が付き、かき氷に適した氷ではなくなります。



底面中央を押す



正しい使いかた

調理する

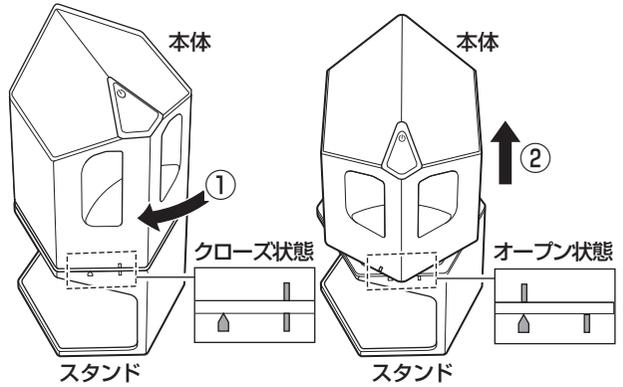


- テーブルや机以外の場所で使用しない。
- 乳幼児だけで使わせたり、手の届くところで使用しない。

1. 水平な安定した場所に設置し、本体をはずす

本体をスタンドから取りはずす

スタンドをしっかりと押さえて、本体を時計方向に回転させて①、スタンドの▲マークと本体の□マークを上下そろえてオープン状態にして、本体をはずしてください②。



クローズ状態 (正しく取り付けられた状態) :

- 本体の取っ手の下とスタンド(右前)にある□マークと▲マークが上下そろっています

オープン状態 (取り付け取りはずしができる状態) :

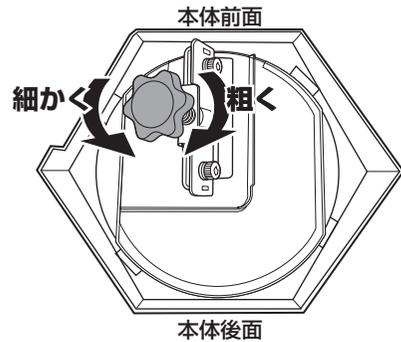
- 本体を回転させて▲マークと□マークを上下そろえて取り付け取りはずしをします。

2. 刃の高さ調節ネジを回して最も細かい設定にする

右図のように、氷ケースの下にある刃の高さ調節ネジを反時計回りに回して、前もって最も細かい設定にしておきます。



- 刃やスパイク部にはふれない。鋭利なため、けがの原因になります。
- 回しすぎない。



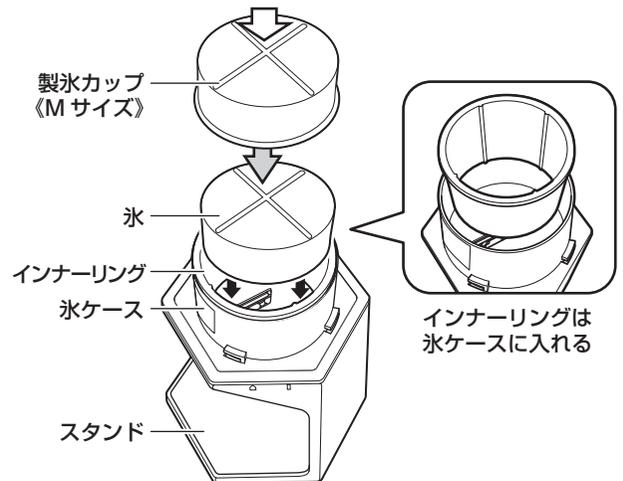
《氷を削る場合》

3. 氷ケースにインナーリングをセットしていることを確認し、製氷カップで作った氷の平らな面を下にして氷ケースに入れる

氷ケースがスタンドにしっかりとのっていることを確認してください。氷ケースに必ずインナーリングを取り付け、付属の製氷カップで作った氷を氷ケースに入れてください。



- 専用の製氷カップで作った氷以外は使用しない。
- パラ氷や市販のかたい氷は使用しない。
- 氷ケースの刃の位置表示がスタンドの手前に来るように取り付ける。刃が奥に行くと刃の調節が難しくなります。
- 氷を製氷カップから取り出すときは、たたきつけない。破損の恐れがあります。
- インナーリングを使用しないと正しく削れません。必ずご使用ください。



正しい使いかた (つづき)

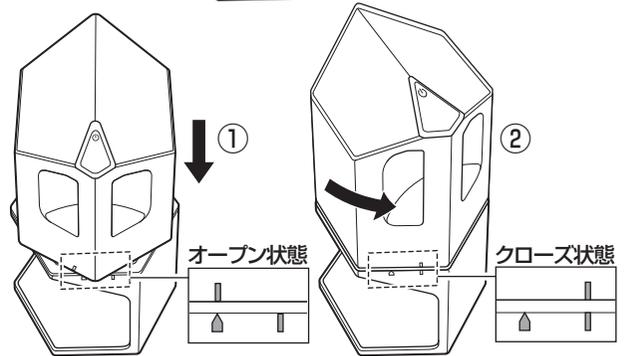
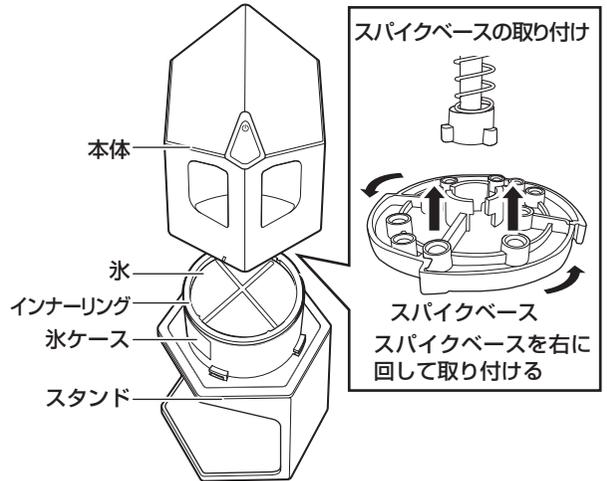
4. 本体にスパイクベースを取り付け、スパイクベースで氷を押さえつけるように本体を氷ケースに取り付ける

※特に水以外の氷を入れたときは、氷が比較的柔らかくスパイクベースのところからまわりすることもあるため、本体を取り付けるとき、スパイクベースを氷に食い込ませる感覚で取り付けてください。

本体をスタンドに取り付ける

スタンドの▲マークと本体の□マークを合わせるように上下そろえてオープン状態にして組み合わせて①、本体を反時計回しにして、取り付けてください②。

正しく取り付けられると、スタンドの□マークと本体の□マークが揃ってクローズ状態になります。



注意

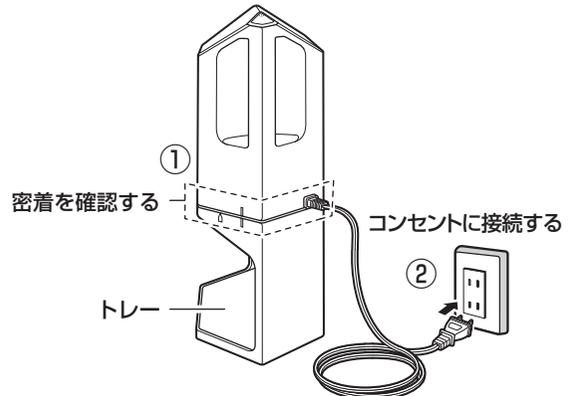
- 本体を氷ケースに取り付ける前に電源プラグをコンセントに接続しない。コンセントに接続されていると、氷ケース取り付け時にスパイクベースが動いて、事故やけがの原因になります。
- 本体を氷ケースに取り付ける際、本体を最後まで押し込んでから回してください。クローズ状態にならず、使用できません。「氷を作る」に準じて作った氷をお使いください。(5ページをご覧ください。)

5. 本体とスタンドがぴったり密着されていることを確認し①、トレーに調理物を受ける器を用意する

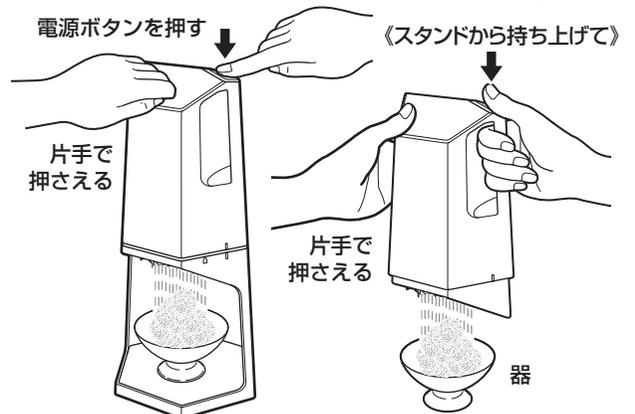
6. 電源プラグをコンセントに接続する②

7. 電源ボタンを押して、調理を開始する

本体をしっかりと押さえて、電源ボタンを押してください。



《たばねたまま使用しない》



注意

2分以上の連続運転はしない。
モーター故障の原因になります。

本体の電源ボタンを押さないと製品は作動しません。本体をスタンドから取りはずしても使用することができます。

- 本体を水平に持ち上げて取りはずしてください。
- 使用中もできるだけ傾けず、水平に移動させて使用してください(氷を効率よく使用するためです)。

本体の電源ボタンから指を離すと停止します。

- 氷がなくなっても、自動で止まりませんので、電源ボタンから指を離して停止させてください。
- 器にかたよって調理されたときは、器を回転させてください。

正しい使いかた(つづき)

【とろとろふわふわに削る方法】

できあがりの細かさ・粗さを調節できます。

- ① 氷ケース裏側にある、刃の高さ調節ネジを、本体の下から見上げる様に見て反時計回り【細かく】の方向に止まるまで回してください。(刃が一番低い状態になり氷は削れない場合があります。)
- ② 氷を削りながら調節ネジをゆっくりと時計回り【粗く】に回してください。氷が削れ出したらお好みの粗さでネジの調節を止めてそのまま削ってください。氷の状態により一番「細かい」設定(最後まで回した状態)でも削れる場合がありますが、不良ではございません。

※ 一定の位置では削れない場合があります。

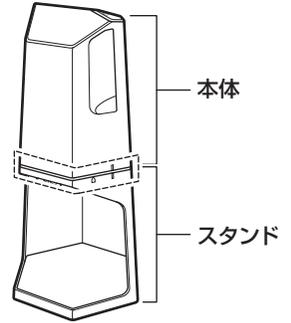
※ 氷の状態により削り具合は変化しますので、必要に応じて氷を削りながらこまめに調節を行ってください。

※ アルコールを含んだ氷を削らないでください。

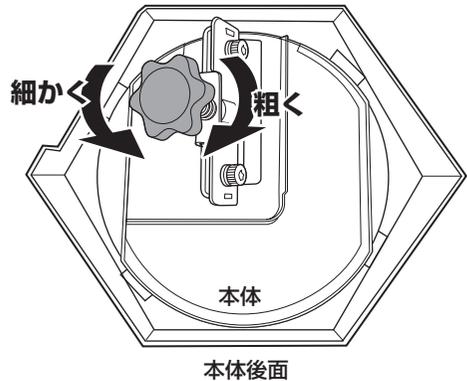
※ 周囲に削れた氷が飛び散るので、口径の小さい器に氷を削るときは、ぬれても良い場所か、器の下にふきんなどを敷いて削ってください。

※ 調節ネジを強く回しすぎると、回らなくなる場合があります。

スタンドから本体持ち上げて使用したときは、使用したあと、前面と、▲マークと■マークのある面を一致させるようにのせてください。



氷ケースの裏側(下から見た状態)
本体前面



氷が出なくなったとき

8. 本体を氷ケースからはずし、スタンドに置かれた氷ケースの氷を捨てる

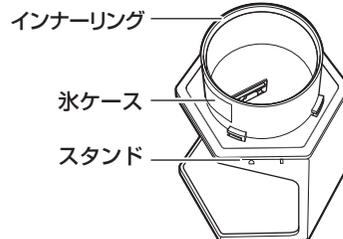
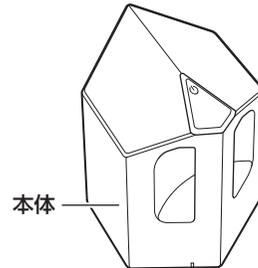
構造上、氷ケース内に氷が残りますが故障ではありません。

続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷は、必ず捨ててください。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。

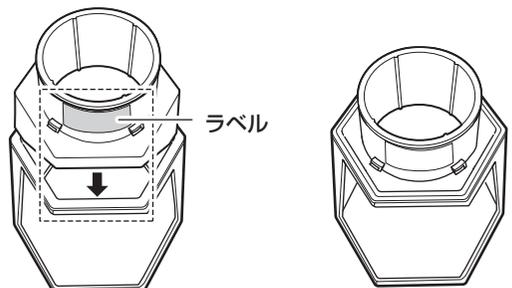
※ 使用後は、本体に付着した水が垂れることがあります。ふきんなどの上において水切りをしてください。

⚠️ 注意

- 持ち上げている場合は本体をスタンドに必ず置いてからはずす。けがや事故の原因になります。
- 氷ケースに残った氷は捨てる。スパイクベースと刃があたらないような構造になっているため、氷ケース内に氷が残ります。故障ではありません。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。



スタンドに氷ケースを取り付けるとき



スタンドに氷ケースを取りつけるときは、スタンドの正面と氷ケースのラベルを同じ向きにして取り付けてください。

正しい使いかた（つづき）

調理が終わったら

9. 調理を終えたら、電源プラグをコンセントからはずし、お手入れをする

氷を削り終えたら、本体以外を洗って、十分乾燥させます（「お手入れと保存」10～11ページ）。



注意

使用後は十分お手入れをして乾燥させる。
特に水以外のものを凍らせて削ったときは、そのままにしておくと、すぐにサビやカビなどの発生原因になります。

お手入れと保存



- お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。感電やけが、やけど、故障の原因になります。
- お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどを使わない。変色・変形・感電・故障の原因になります。

水以外のものでも氷を作ったときは、早めに念入りにお手入れをしてください。

本体をお手入れする



本体は絶対に水につけない。故障ややけどの原因になります。

本体以外は、すべて水洗いすることができます。



本体 水洗い不可



本体以外 水洗い可

1. スタンドから本体をはずす

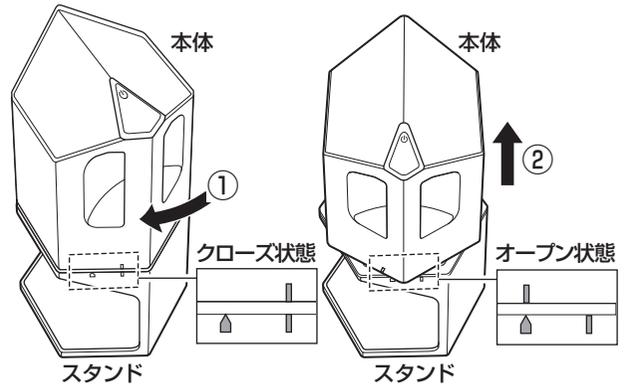
スタンドをしっかりと押さえて、本体を時計方向に回転させて①、スタンドの▲マークと本体の■マークを上下そろえてオープン状態にして、本体をはずしてください②。

2. 本体からスパイクベースをはずす

平らな場所に、本体の側面部を下にして置きます。スパイク部に十分気をつけ、スパイクベース裏側を見て、スパイクベースを左に回し、取りはずしてください③。

3. 本体を乾いた布で拭く

スパイクベースの上の部分など、水滴が残らないように拭き取ってください④。汚れがひどいときは洗剤を含ませた布をしっかりとしぼってから使用して、汚れがとれたら、乾いた布でからぶきしてください。



本体以外をお手入れする

本体以外は、すべて水洗いすることができます。

4. 取りはずしたスパイクベース、スタンド、氷ケース、インナーリング、製氷カップ、すべて水洗いをする

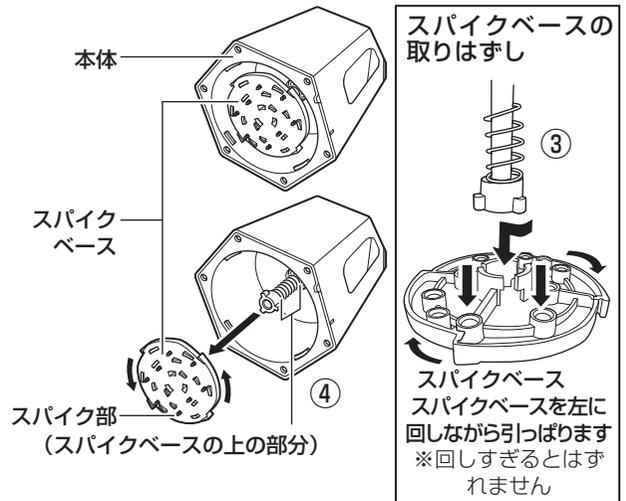
本体以外すべて水洗いをしてください。汚れがひどいときは、ぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用して必ずきれいに洗ってください。



- 刃やスパイク部にはふれない。鋭利なため、けがをすることがあります。
- 氷ケースの刃の部分は分解しない。

5. 水洗いしたあと、十分に乾燥させる

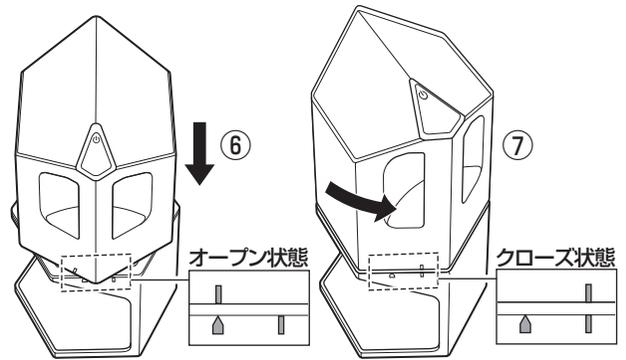
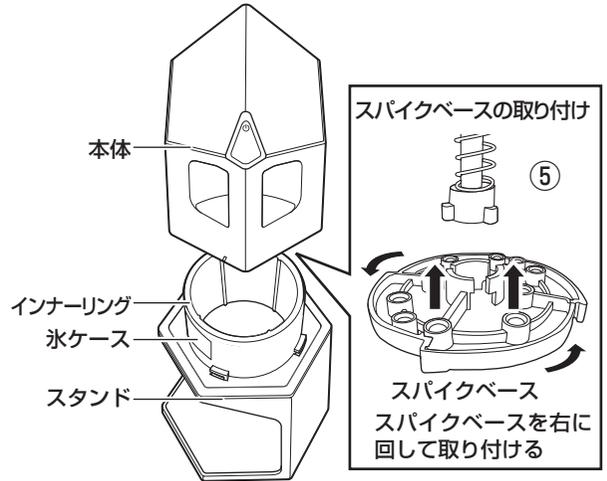
刃の部分については、「刃の部分のお手入れ」11ページをご覧ください。



お手入れと保存 (つづき)

6. 元通り組み立てて保存する

1. 本体にスパイクベースを取り付ける⑤
2. 氷ケースにインナーリングを取り付ける
3. スタンドに氷ケースを取り付ける
「スタンドに氷ケースを取り付けるとき」
(8ページ)をご覧ください。
4. 本体をスタンドに取り付ける
スタンドの▲マークと本体の□マークを合わせるように上下そろえてオープン状態にして組み合わせて⑥、本体を反時計回しにして、取り付けてください⑦。
正しく取り付けられると、スタンドの□マークと本体の□マークが揃ってクローズ状態になります。



刃の部分のお手入れ

1. 氷ケースの刃には直接手をふれないように付属のブラシを使い、水洗いをしてふきんなどの上に置いて完全に乾かす
2. 乾かしたあと、刃に食用油を塗って保存する

サビ防止のため、刃に食用油を塗っておきます。



注意 刃やスパイク部にはふれない。
鋭利なため、けがをすることがあります。

長期保存のしかた

長期間ご使用にならないときは、必ず完全に乾かしてから箱へ入れて湿気のないところへ保存してください。

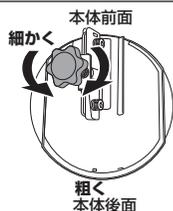
※十分にお手入れをして乾燥させないと、サビやカビが発生します。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源ボタンを押しても 運転しない	電源プラグが抜けていませんか。 インナーリングが氷ケースにセットされていませんか。	電源プラグをしっかり差し込んでください。 インナーリングをセットしてください。
氷が削れない	氷が氷ケースに入っていますか。	氷を氷ケースに入れてください。
	氷ケース内に削れずに残った氷が入っていませんか。	氷を取り除いてください。
	スパイクベースが空回りしていませんか。	一度本体を氷ケースから外して、再度本体を取り付けてください。
	インナーリングが氷ケースにセットされていませんか。	インナーリングをセットしてください。
	糖分が多く、柔らかい氷のためスパイクベースが空回りしていませんか。	糖分を減らした氷に変更してください。
	刃が出すぎた状態(粗い削り)になっていて回らない状態(氷がロックしている)になっていませんか。	刃の高さ調節ネジでこまめに調節してください。
ふわふわに削れない	刃の高さ調節をしていますか。	電源ボタンを押しながら、調節ダイヤルでこまめに刃の高さ調整してください。
	本体を水平にして使用していますか。	本体を水平にして使用してください。
氷を削るスピードが遅い	氷が少なくなったり、氷が斜めになっていませんか。	氷を裏返しにしてください。
	氷がかたい状態になっていませんか。	氷を常温で放置し、少し溶かしてから削ってください。
途中で止まってしまう	氷がロックしていませんか。	刃を細かくの方向へ回して、こまめに調節してください。
	2分以上使用していませんか。	電源プラグを抜いて、30分以上削るのをやめてください。
本体を取り付けることができない	製氷カップで作った氷以外を使っていますか。	製氷カップで作った氷を使ってください。
	氷ケース内に削れた氷が入っていませんか。	氷を入れ替えてください。
	製氷カップで作った氷が氷線を超えていますか。	氷線以下にしてお使いください。
氷が空回りしてしまう	氷ケースの刃の隙間・溝部分に削った氷が詰まっていますか。	詰まっていたら、氷ケースを取り出し、ブラシを使って水道水で洗い流してください。
	刃の高さ調節ネジを細かくの方向へ回しすぎていませんか。	氷が削れる高さまで粗くの方向へ回し、氷を回転させながら、こまめに刃の高さを調節してください。



長年ご使用の氷かき器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源プラグ、電源コードが異常に熱い。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

お問い合わせ

お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、弊社お客様相談室までご連絡ください。

株式会社ドウシシャ www.doshisha.co.jp

お客様相談室 0120-104-481

【受付時間 9:00~17:00 祝日以外の月~金】

※製品名、型番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。
※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

【修理品の送付先】

〒556-0023
大阪市浪速区稲荷1-6

株式会社ドウシシャ
サービスセンター

MADE IN CHINA

D211126